

牛乳パックで季節の花をアレンジ

～吸水性スポンジに挿してアレンジする方法～

作成者：株式会社フローレ21 高杉揚子

- 対象者・人数：幼児、年長～小学生15～20名
(参加人数によって所要時間とスタッフの人数が変わってきます)
- 所要時間：1時間～1時間30分(年齢によって異なります)
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、スタッフ1～2名
- 実施場所：児童センター、小学校、イベント



- 資材：
 - ・牛乳パック(500ml又は1ℓ)1個(切ったり、折らずそのままの状態)
 - ・工作用ハサミ
 - ・切花用のハサミ
 - ・吸水性スポンジ(花器の大きさに合わせてカットする)
 - ・色画用紙
 - ・両面テープ(牛乳パックに色画用紙を貼り付けるときに使用します)



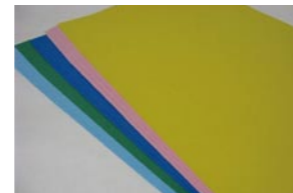
牛乳パック



吸水性スポンジ



切花ハサミ



色画用紙

- 花材：
 - ・季節の花を選ぶことにより、春夏秋冬オールシーズン対応できる
 - ・一人、5～6本ぐらい選べる本数・種類を用意する
 - ・事前に水揚げをして、花を元気な状態にする
- ※季節の花
 - 春＝チューリップ、スイートピー、マーガレット、ガーベラ 等
 - 夏＝ひまわり、アワ、クルクマ 等
 - 秋＝ケイトウ、リンドウ、ワレモコウ、オミナエシ 等
 - 冬＝ヒバ、サンキライ、松かさ 等



リンドウ



ワレモコウ



セロシアケイトウ



スプレーキク

【指導内容と目的】

- ・フラワーアレンジを教えるのではなく、花を通して子どもたちに、植物との関わり、季節の花、命の大切さ等を伝える。
- ・サンプルは用意せず、花を自由に選び、自由にアレンジを行う。この事で、個性豊かな作品に仕上がりと達成感が育まれる。
- ・花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝え、花好きの子どもを増やす。

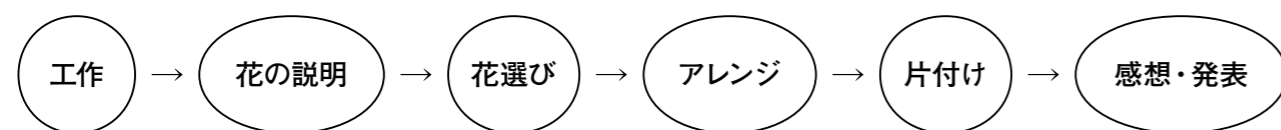
【対象者への配慮】

- ・牛乳パックを使用する(牛乳パックは500ml・1ℓどちらでも良い)花器を作る際、ハサミを使用するので、幼児・小学生の低学年には、大人の補助が必要となる。
- ・花を切る時はなるべく切花用のハサミを使用する。工作用のハサミだと、切りにくく、茎がつぶれてしまう事がある。切花用のハサミを使う前に、必ず、ハサミの扱い方、花の切り方について説明すること。
- ・花の紹介・説明をする際、子ども達が分かりやすい言葉を選び、興味を持ってもらえるような話し方や説明(特徴・名前の由来・産地・花びらの形等)が良い。また、花の特徴を知ってもらうため、必ず紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を確かめてもらう。

1. 当日の流れ

時間(所要時間) 1時間～1時間30分(年齢によって異なる)

手順



指導ポイント

- ・家にある物を使用して、簡単に季節の花をアレンジ。
- ・吸水性スポンジを使って、花を挿してアレンジする楽しさを知ってもらう。
- ・自分達で作ったオリジナルの花器に、好きな花をアレンジすることで、花を飾る楽しさ、花の生命を感じてほしい(吸水性スポンジでの楽しみ方を知ってもらう)。

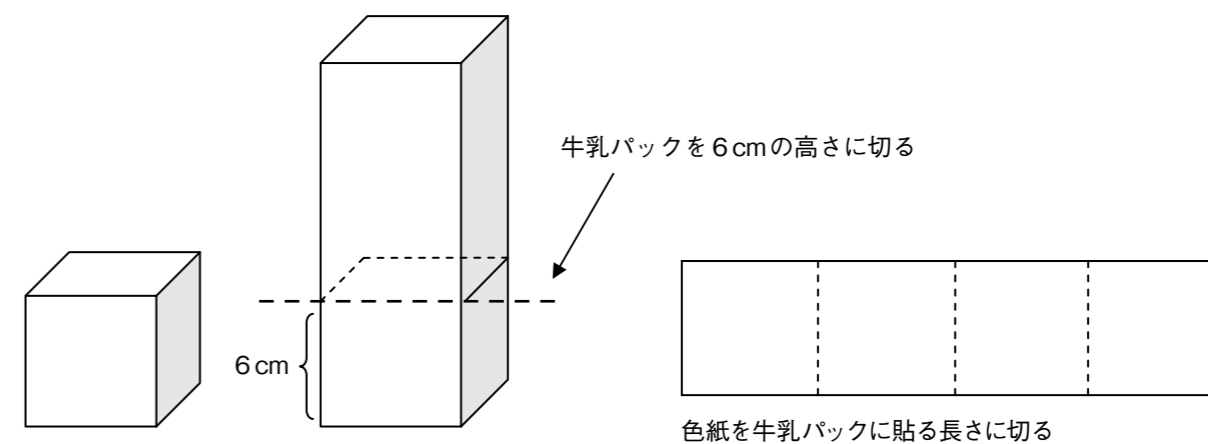
2. 時間配分(年齢によって異なる)

- ① 花器工作 10分
- ② 花の種類についての説明 10分
子供たちに香り・感触を楽しんでもうら為、全員に回す
- ③ 花選び 10分
- ④ 吸水性スポンジを花器に入れる 1分
- ⑤ アレンジ開始 10分～15分
- ⑥ 片付け 5分
- ⑦ 「花レシピ」に選んだ花の名前を記入 5分
- ⑧ アレンジ発表・感想 5分

3. フレームワーク

① 準備

- ・花を挿す吸水性スポンジを用意。
牛乳パックの大きさに合わせて、吸水性スポンジを切っておく。
- ・バケツに水を入れて、花材を並べる。
- ・当日使用する花の名前カードを用意(産地名を記入するのも良い)
※幼児・小学生低学年の場合、バケツに貼り付ける花の名前はひらがなで書く。
- ・資材(色画用紙・両面テープ)の用意、色画用紙を用意。牛乳パックは下から6cmの高さの所で切って使用します。牛乳パックの高さ(6cm幅)、牛乳パックを一周できる長さに合わせて、色紙を切っておく。(季節に合わせた色合いが良い)その時、事前に両面テープを貼っておくと、進めやすい。
- ・工作用ハサミ、切花用ハサミの用意



② 挨拶

今日のアレンジの内容やテーマ等、作成の内容を説明。



③ 牛乳パックで花器を作る

牛乳パック(500ml又は1ℓ)の底から、6cmの所で切る。牛乳パックを切る前に、先に画用紙を貼り付けて切ると切りやすい(両面テープ使用)。



④ 吸水性スポンジを水に浸ける

- ・水を入れたバケツを用意
- ・①の準備時には吸水性スポンジは配らない(子どもが触って、穴をあけたりするので)。
- ・吸水性スポンジの説明(花をアレンジする時に使用する物・強く握ると崩れてしまう等)
- ・吸水性スポンジを配る
- ・バケツに吸水性スポンジを入れる(水に入れる時の注意・説明)(水の中に入れる際、上からポンと落とすだけ。上からギュッと押ししてしまうと、吸水性スポンジの中に空気が入ってしまい、水がしみ込まなくなってしまう等)。
- ・水をしみ込ませている間、花の説明を行なう。



⑤ 花の名前・特徴を紹介(産地・名前の由来・花びらの形等)

花の名前は事前にバケツに貼り付けるのではなく、「この花の名前を知っている人!」等と、子ども達に質問して答えてもらう。その後、花の名前・特徴について話しながら、バケツに名前を貼り付ける。必ず、紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を必ず確かめてもらう。

⑥ 花器に水を入れる

選ぶ本数を決めて、子ども達に好きな花を選んでもらう。その際、花の取扱について説明する(どんな事をしたら花は折れてしまうか。花の性質、さらに花の気持ちを考えてもらう)



⑦ 全員が花を選んだら、吸水性スポンジを花器に入れる

⑧ 花の切り方を説明

- ・普段使用している工作用のハサミより、「良く切れる!」という事を説明
- ・右利きと左利きにと分けて説明。
- ・花の置き方・向きを説明(右利きの場合、花の顔(咲いている方)を左向き横にして置くと、持ちやすく切りやすい。左利きの場合、右利きと逆に置く)
- ・子ども達と同じ向きになり、花(茎)を持って、どうやってハサミで切るかを見せる。



⑨ 花の挿し方・アレンジの仕方を説明

- ・花器に対しての長さを教える(どの位の長さできるか)。
- ・スポンジの挿し方
- ・スポンジに挿す部分の葉は取る(なぜ取るかを説明)。

⑩ アレンジ開始

⑧～⑨の事に気をつけながら、自由にアレンジを楽しんでもらう。なるべく、アレンジに対して、注意や意見をすることはやめましょう。注意することは、⑧～⑨のみ。これ以上注意してしまうと、子ども達のやる気をなくしてしまいます。温かく見守りましょう。



⑪ 片付け

アレンジが終わった子ども達から、机の上、床のゴミを片付ける。ゴミ袋に捨てる時は、茎をなるべく短くして捨てることを教える(ゴミ袋から茎が飛び出て、ケガをしたりすることがある)。茎を短くする際、ハサミで切る場合は注意が必要。また、ハサミを持って、ゴミ箱まで来る子がいますので、ハサミを持ち歩かないよう注意すること。

⑫ 「花レシピ」を記入

自分で選んだ花の名前を記入してもらう。
花の名前を覚えてもらう為、また、お家に帰って家族と花の名前等について話せるように。



⑬ 発表・感想

アレンジの発表、感想を聞いてみる。
「今日、好きになった花は?」「どんなイメージで作ったの」「どこに飾る?」等、感想も聞いてみる。

⑭ 終わりの挨拶

- ・花が咲く楽しみ、水を換える方法等を説明。幼児・小学生低学年には「今日からこの花達のお母さんとお父さんになります。きれいに長くお花を楽しむ為に、お世話をしてあげてください。」と話す。
- ・皆で拍手をして終了

参考：花レシピカード (A6サイズ)



幼児・小学生低学年の場合は「ひらがな」が良い